



 公益財団法人トヨタ財団

2017 年度国内助成プログラム

未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ
—地域に開かれた仕事づくりを通じて—

カテゴリー A. しらべる助成
B. そだてる助成

応募期間 9月1日（金）—9月29日（金）

応募相談
受付中





プログラム趣旨

2017年度国内助成プログラムは、「未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ 地域に開かれた仕事づくりを通じて」を基本テーマに、持続可能な地域コミュニティの実現に向け、地域の担い手を目指す「若者」が、地域内外の人たちと共に、地域課題の解決につながる仕事の創出に向けて取り組む一連の活動に対して助成を行います。

私たちの暮らしの場である地域社会は、地方・大都市圏を問わず、高齢化や人口変動に伴いコミュニティの持続可能性の危機への対応が急務となっています。また、国籍、文化、ライフスタイルなど、多様な背景を持つ人々が、地域の担い手として安心してともに暮らすことのできる地域の実現も、ますます重要となっています。こうした社会状況下において、持続可能な地域コミュニティの実現のためには、地域に暮らすひとりひとりが役割（仕事）を持ち、地域の担い手となるコミュニティづくりが重要であると考えます。

具体的には、自分たちの暮らしの場を守るために、地域課題の解決や地域価値の創造を目的とした仕事づくりや、その担い手の育成ならびに仕組みづくりを目指す取り組みを支援します。

これらの取り組みを通じ、現在の社会の在り方を問い直すとともに、新しい価値の創出につながる仕組みをつくり、それぞれの地域に適した、持続可能で人々が幸せを実感できるコミュニティが各地で築かれることを期待しています。

皆様からの意欲に満ちたご応募をお待ちしています。

<トヨタ財団について>

トヨタ財団は、「人間のより一層の幸せを目指し、将来の福祉社会の発展に資する」ことを基本理念とする助成財団です。生活・自然環境、社会福祉、教育・文化を主要な領域として、多様な領域における課題を的確にとらえるため、これらに関する研究ならびに事業に助成を行っています。財団の活動では、その初期より「先見性」、「市民性」、「国際性」という3つの方向性を指標として、これらに沿って助成を実施することを基本的な考え方としてきました。





プログラムの概要と応募方法

◆ 助成のカテゴリー（詳細は P3、P4 をご覧ください）

A：しらべる助成

地域課題の発掘やその解決のために必要な調査、戦略立案、パイロット事業の実施などを目的としたプロジェクトへの助成

B：そだてる助成

地域課題解決に向けた事業の立ち上げ、実施、拡大ならびにそうした事業の担い手となる人材を育てることを目的としたプロジェクトへの助成

◆ 助成総額 1 億円

◆ 応募期間 2017 年 9 月 1 日（金）9：00 ～ 9 月 29 日（金）15：00

◆ 応募方法

以下のステップに基づき、ウェブサイトよりご応募ください。

※メール・郵送での提出はお受付できませんので、ご注意ください。

Step 1	ウェブサイト【応募の受け付けはこちら】より Web 応募ページに進み、応募エントリー（名前、E メールアドレス、パスワード）
Step 2	応募エントリー登録完了 応募エントリー時にご登録の E メールアドレス宛てに応募者専用ページ URL を通知
Step 3	応募者専用ページにログインし、基本情報シート（Excel）、企画書（Word）をダウンロード
Step 4	基本情報ならびに企画書の各項目を記入 <u>（企画書の具体的な内容に関するお問い合わせにつきましては、9 月 26 日（火）までとさせていただきます）</u>
Step 5	応募者専用ページから基本情報ならびに企画書を送信（アップロード）
Step 6	応募完了！ 応募エントリー時にご登録の E メールアドレス宛てに、応募完了の旨を通知



助成の内容

A：しらべる助成

助成期間	2018年4月1日から2019年3月31日（1年間）
助成金額	上限100万円
対象となる組織	運営の中心となる組織の法人格の有無・種類は問いません。
対象となる活動	プログラムの趣旨に合致する取り組みにつながる一連の活動。具体的には： <ul style="list-style-type: none">・地域課題の現状やその動向を探るための調査活動・ステークホルダーとの関係構築・パイロット事業の実施・成果のとりまとめ、発信（冊子の作成、報告会の実施など）
プロジェクトに期待すること	<ul style="list-style-type: none">・調査に基づくアクションプランが描けていること・調査結果をわかりやすくとりまとめ、広く発信・共有すること（情報発信）・地域住民やステークホルダーを対象とした調査結果の報告会を実施すること・調査結果を地域内外の関係者と共有し、事業実施に向けた関係構築につなげること・調査・分析手法について助言・アドバイスを行う協力者・専門家の参加があること
対象となる費用	<ul style="list-style-type: none">・調査に必要な経費、調査を実施する組織・個人の人件費・調査手法のアドバイスを行う専門家に支払う謝金・交通費・調査のとりまとめ、発信にかかる経費 など ※ 詳細は企画書をご覧ください。
選考基準	【調査の妥当性】 調査目的に対して、調査内容が適切である 【調査の実現可能性】 調査手法、調査体制、スケジュール、予算が適切であるか 【関係者の巻き込み】 次のアクションに向けて必要なステークホルダーの巻き込みを企図しているか
助成期間終了後の展開	2017年度「しらべる助成」の助成期間中（2018年9月）に調査結果を踏まえて企画したプロジェクトを翌年度の「そだてる助成」へ応募していただけます。ただし、その場合には、応募までにある程度、調査等の活動が完了していることが必要です。



B：そだてる助成

助成期間	2018年4月1日～2020年3月31日まで（2年間）
助成金額	実施内容と申請額に基づき、選考委員会で決定された金額 過去3年間の実績平均519万円/2年
対象となる組織	運営の中心となる組織の法人格の有無・種類は問いません。
対象となるプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決につながる仕事づくりとその担い手の育成 ・地域の多様な担い手とつくる支え合いの仕事づくりと仕組みづくり ・地域の多様な担い手の参加を促進する仕組み・環境づくり
プロジェクトに期待すること	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代の参加、育成が意識されていること（40代迄の若者の参加は必須） ・地域内外の多様な主体の連携による取り組みであること ・伴走者（企画立案・進捗状況の確認、相談・連携のコーディネート・組織基盤強化の支援）として中間支援組織（NPO支援センター、コミュニティ財団など）の参加があること ・助成期間後の継続に向けて、基盤強化につながる取り組みも実施すること ・活動成果を社会に広く発信し、協力者や仲間の確保につなげる（情報発信）
対象となる費用	プロジェクトの実施に伴い発生する経費、組織の人件費の他、伴走者の人件費、助成期間終了後の継続に向けた基盤強化に必要な経費も対象となります。 ※ 詳細は企画書をご覧ください。
選考基準	<p>【妥当性】 地域課題の把握が十分に行われており、実施内容が解決したい課題に対して妥当であるか</p> <p>【実現可能性】 推進体制、ネットワーク、スケジュール、予算が適切か</p> <p>【継続性】 助成終了後に継続するための計画が具体的に想定されているか</p> <p>【波及効果】 助成プロジェクトの成果が中長期の目的の実現へ寄与することが期待できるか。また、他地域への将来的な波及効果が期待できるか</p> <p>【運動性・変革性】 社会の新しい価値の創造、仕組みづくりに寄与するか</p>



選考から助成決定まで

9月1日～29日	応募期間	P2の手順に沿って、WEBサイトよりご応募ください。 ※応募に関するお問い合わせは、P7に記載されている連絡先までお問い合わせください。
10月～12月	書類審査	「国内助成プログラム選考委員会」（選考委員長：萩原なつ子・日本NPOセンター副代表理事以下、研究者・NPO関係者など計6名）にて書類審査
1月	ヒアリング	書類審査の結果、選考委員会での選考の対象となった候補者に対して必要に応じ事務局より電話・メール等にてヒアリング
2月	選考委員会	書類とヒアリング結果に基づき「選考委員会」にて選考
2月	ワークショップ (理事会に向けた企画のブラッシュアップ)	助成対象候補となった団体を対象としたワークショップ。選考委員会が出された意見等も踏まえ、企画のブラッシュアップを行う。
3月	理事会	当財団理事会にて助成対象プロジェクトの決定
3月末	選考結果通知	応募エントリー時に、ご登録頂いたEメールアドレス宛に採否を通知。
4月	助成金贈呈式	都内にて助成金贈呈式を開催
4月上旬	助成金支払	しらべる助成：2018年4月上旬に送金 そだてる助成：2018年4月上旬、10月下旬、2019年4月下旬、10月下旬（予定）の4回に分割して送金

◆ 助成金額

選考の際には、応募金額や支出計画の妥当性についても審査が行われます。助成の対象となった場合にも、実際の助成金額は、応募金額より減額されることがあります。

◆ 自己資金、他機関からの補助金・助成金等について

自己資金負担率について指定はありませんが、助成期間終了後どのように継続するかについては、選考基準の一つとなります。

◆ 団体情報

選考の際「公益事業コミュニティサイト CANPAN」※の団体情報を参考資料といたします。未登録の場合は、選考の過程で CANPAN の団体情報（情報開示レベル★4 つ）と同程度の資料の提出をお願いする場合がございます。

※CANPAN（かんぱん）とは、特定非営利活動法人 CANPAN センターが提供する公益活動団体データベースです。法人格の有無・種類にかかわらず登録することができます（無料）。<http://fields.canpan.info/>

◆ 選考結果

採否については、応募エントリー時にご登録いただいた E メールアドレスにお送りします。2018 年 3 月末までに採否についての通知が届かない場合は、お手数ですが、当財団までお問い合わせください。なお、採否の理由などに関するお問い合わせには一切応じかねます。また、応募エントリー時にご登録頂いた E メールアドレスに変更がありましたら、速やかに当財団までお知らせください。

その他

◆ 報告書類の提出

助成期間中は、所定の期日までに「月報」、「経過報告書」、「実施報告書」、「会計報告」を提出していただきます。そのほか、必要に応じてプロジェクトに関わる書類のご提出をお願いすることがあります。

◆ 報告会

助成対象団体を対象とした報告会等のイベントを開催することがあります。

◆ ヒアリング

当財団のプログラム・オフィサーが必要に応じ、助成期間中にプロジェクト実施地域を訪問し、プロジェクトの進捗状況や結果についてヒアリングを行います。

◆ 助成期間終了後

過去に「国内助成プログラム」の助成を受けたことがある団体を対象に、プロジェクトの成果を社会に広く発信し、社会の仕組みや価値観を変えることを目的として実施する政策提言・社会提案に対して支援を行う助成枠「発信・提言助成（アドボカシー）」を設けています（非公募）。

◆ トヨタ NPO カレッジ「カイケツ」

助成対象となられた方は、トヨタ自動車(株)等の協力を得て実施しているトヨタ NPO カレッジ「カイケツ」を優先的に受講することができます。

◆ 応募にあたっての注意

- ・ 応募に当たっては、基本情報ならびに企画書のみを送信してください（添付資料は不要です）。
- ・ 応募締切時間の直前は、回線が混雑し送信できない恐れがありますので、お早めにご応募ください。
- ・ 送信された基本情報ならびに企画書の差し替えは受け付けられません。
- ・ 送信されたデータは、選考結果のお知らせまで、お手元に確実に保存してください。
- ・ 助成対象プロジェクトについて、団体名、代表者氏名、所在地、実施内容、助成金額を公表させていただきます。【個人情報の取り扱い】に則り、応募時にご入力頂いた基本情報ならびに企画書の個人情報は、当財団の選考に関わる業務にのみ使用し、それ以外には使用致しません。
- ・ 選考結果の採否に関するお問い合わせは原則としてお受付できません。



応募にあたってご相談がございましたら下記までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

〒163-0437

東京都新宿区西新宿 2 丁目 1 番 1 号 新宿三井ビル 37 階

公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム担当：喜田、加藤、鷺澤、石井

TEL 03-3344-1701 FAX 03-3342-6911

Email gp4ca@toyotafound.or.jp

URL <http://www.toyotafound.or.jp/>

